

## 農業後継者育成基金事業

### 令和4年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 鹿児島県立伊佐農林高等学校

#### 1 目的

地域農家に対する援農活動、地域農産物PRイベントでの体験学習、さらに先進的農家や農業大学校等の視察研修を通して、地域の農林業及び関連産業への興味・関心をさらに高め、就農意欲の向上を図る。

#### 2 実施状況

##### (1) 地域農家との協働・交流の実施

農業クラブ役員（3年生3人，2年生4人）が中心となり，農林技術科全学年（57人）で，3年振りの開催となる農林館祭りを開催した。4月「春の農林館祭り」は野菜苗・草花をメインに開催し，12月「大農林館祭り」は野菜・米・豚肉・加工品など多くの生産物を販売した。農業生産活動に対する魅力の再発見と，お客様との交流をとおしてコミュニケーション力の向上を図った。実習生産物に関する外部評価をお客様から直に獲得でき，学習意欲の向上につながったようである。



実習生産物販売会の開催

##### (2) 地域イベントへの参加

農林技術科林業専攻生2年生4人，3年生7人が，3年振りに開催された伊佐ふるさと祭りにおいて，林業の現場で活用される高性能林業機械（走行集材機）やチェーンソーの操作技術を競い，学習成果を披露し林業をPRした。また，販売ブースでは園芸専攻班2年生3人，3年生3人，畜産専攻班2年生3人，3年生3人による生産物販売が行われ，地域に対し農業の魅力発信を行った。



地域イベントへの参加

##### (3) 課題研究発表会の実施

伊佐市文化センター大ホールで課題研究発表会を行い，農林技術科1～3年生（57人）が参加した。発表は2・3年生の専攻班ごとに行い，進級後の専攻班の選択材料にするため1年生もすべてを視聴した。伊佐市長をはじめ，市農政林務課，地域おこし協力隊，始良・伊佐地域振興局から多くの関係者にご出席いただき，本校生徒の学習成果を披露できた。今後の地域活性化につながる第一歩になったように感じる。また，発表後はそれぞれの研究内容をまとめ，課題研究集録の掲載原稿を執筆した。発表および原稿執筆の過程で，データ分析や説明資料作成に関する知識・技能を習得し，専門教科の学習成果に対してさらに自信を深めたようである。



課題研究発表会

#### 3 今後の課題，取り組み

農林技術科では，農業と林業に関する専門的学習を深めるため，2年生から園芸・大家畜・中小家畜・食品加工・林業の5つの専攻班に分かれて学習を行っている。学年が上がり，専攻学習が深まるにつれて，各専攻班の専門性に対する興味・関心が高まる傾向は認められるが，そのことが卒業後の進路選択に必ずしも反映されてはいない。今後は，引き続き関係機関との連携を図りながら，地域の農林業が抱える課題を見極め，それを主体的に解決する能力を育むとともに，体験的学習により得られた知識や技術を十分に生かすことのできる進路選択につなげたい。

これまで実施してきた地域農家との交流活動や各種イベントにおける地域農産物のPR活動，先進的農家および農業大学校での視察研修など従来に戻りつつある中で，従来の形態に戻すだけでなく感染症対策も意識しつつ新たな観点から，発展したイベントの実施に向けた取り組みを模索して行きたい。